



交通安全だより

実践しましょう！ 自転車安全利用五則

- 1 車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と
一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用



スマートフォン

運転中の使用は禁止

前車への追突などに
つながります



夜間は反射材を
活用しましょう



あれ?????

道路が消えた!?

実はこの現象、「目の錯覚」によるもの…
視覚には意外と不確かなところがあるため、
自分の目の弱点について正しく理解し、
安全運転・安全通行に努めましょう!



令和8年 夏の交通安全運動

運動期間 7月13日(月)～7月22日(水)までの10日間

年間スローガン ストップ・ザ・交通事故 ～めざせ 安全で安心な北海道～

運動の重点

- 1 飲酒運転の根絶
- 2 高齢運転者の交通事故防止と
こどもを始めとする歩行者の安全確保
- 3 自転車・バイクの交通事故防止と
自転車利用時のヘルメット着用
- 4 スピードダウンと全席シートベルト着用の徹底



月 形 町 交 通 安 全 推 進 協 会

目の弱点を知って、しっかり安全確認!



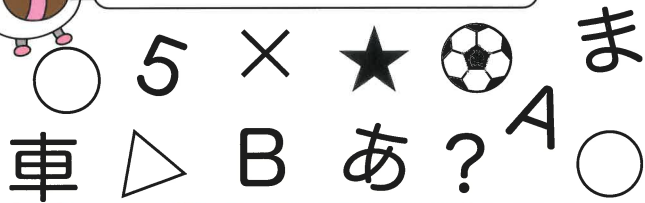
弱点
1

一瞬見るだけでは見落としがち…

■目さえ向ければ視野にあるものすべてを一瞬で認識できる—と思うかもしれませんが、何を見るのか具体的に定めずにチラッと一瞬見ただけでは、視野にあるものすべてを正確には認識できません。



この図を使って体験してみよう!

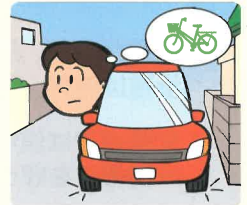


- ①上の図を2〜3秒しっかり見ましょう。
- ②図を隠し、そこにどんな文字や記号があったのか思い出してみよう。視野には入っていたはずなのに、すべての文字・記号を正確に思い出すのはきっと難しいはず…
- ③しかし、「○は何個あるか」など、見るべきものをあらかじめ決めておくと、1秒程度見るだけで正確に判別できるようになります。

だから

ドライバーは…

- 交差道路からの車両など、その場面に現れそうな危険を具体的に定めて、その有無や動向を確認!



自転車利用者は…

- 特に信号がない交差点では、必ず一時停止し、交差道路からくる車の有無をしっかり確認!



弱点
2

はっきり見えている範囲は意外と狭い…

■物の形や色をはっきりと識別できるのは視野中心付近の限られた範囲でしかなく、それ以外の範囲はぼんやりとしか見えていません。

※イメージ写真です



視野の中心より外側の危険は見落としやすい!

だから

ドライバーは…

- 顔全体を右左に向けて、他車(者)の有無や動向を視野の中心でしっかり確認!



歩行者・自転車利用者は…

- 横断前にストップし、顔全体を右左に向け、車がきていないか視野の中心で確認!



弱点
3

暗い場所が苦手…

■暗い場所にいるときの人間の目には、明るい場所にいるときよりも視力が落ちる、色をはっきり識別できなくなる—といった弱点があります。



暗やみにいる歩行者はこんなに見えづらい!

だから

ドライバーは…

- ライトの光が届かない右側前方の暗やみにもしっかり目配りして、歩行者などの有無を確認!



歩行者・自転車利用者は…

- 横断前に必ずストップし、車がきていないか確認!
- 車が近づいてきていたら、通りすぎるまで待つ!

